

那須烏山

— No.83 —

2012
August

8

Public Relations Magazine
of Nasukarasuyama City

山あげ祭	2
デマンド交通10月から試験運行	6
防災情報メールアドレス変更	8
夏期巡回ラジオ体操	9
花いっぱい運動	13
まちの話題	16
インフォメーション	18



山あげ会館前でのブンヌキ (7月29日)



元町での訪問公演。

450余年の伝統、豪壮な野外劇。

山あげ祭

泉町当番で暑い暑い3日間

国の重要無形民俗文化財「山あげ祭」が、7月27日から29日までの3日間、烏山市街地で繰り広げられました。今年の当番泉町では、若衆(石原隆筆頭世話人)が中心となり準備を進め、祭本番を迎えました。期間中には市内外から約6万5千人が来場。多くの観客が、450余年の伝統文化、豪壮な野外劇「山あげ祭」を堪能しました。

祭前夜には、「笠揃」が行われ、関係者が舞台であいさつした後、山水が描かれたはりか山を背景に、「三番叟」と「将門」を公演しました。

初日の早朝には、八雲神社から仲町十文字の御仮殿にみこしを奉還する「出御」が行われ、当番の泉町若衆が、威勢よくみこしを担ぎました。翌日には日野町による「渡御」、最終日には鍛冶町による「還御」が行われ、各町の若衆がみこしを担ぎ練り歩きました。

◇ 27日の午前、御仮殿前の「天王建」で、

◇ 今回は、仲町若衆の活動休止により、同町への訪問がない異例の事態となりましたが、泉町では、この伝統行事を無事、次の当番町に引き継ぎました。

今から約450年前の永禄3年(1560年)、烏山地方に疫病が流行し、この災厄を避けるため、時の烏山城主那須資胤が、大桶村から牛頭天王を烏山町(酒主村)の中心部に勧請したのが発祥とされる「山あげ祭」。当初は相撲や神楽獅子等が奉納され、形を変えながら、祭は現在まで継承されてきました。

今年、猛暑の中での開催となり、更に若衆らの気はくで、市内は、暑い、暑い3日間となりました。舞台では、山あげ保存会芸能部会の踊り子たちが、中心芸題「将門」や、「梅川」など16公演を行い、観客もこの暑さに耐えながら、山あげ祭を楽しみました。



②



①



③



⑥



⑤



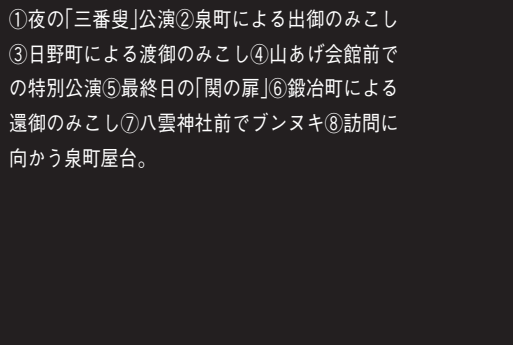
④



⑧



⑦



①夜の「三番叟」公演②泉町による出御のみこし
③日野町による渡御のみこし④山あげ会館前での特別公演⑤最終日の「関の扉」⑥鍛冶町による還御のみこし⑦八雲神社前でブンヌキ⑧訪問に向かう泉町屋台。

いよいよ山あげの幕開けとなりました。泉町若衆らは、金棒曳きを先頭に屋台を巡行させ、他町への訪問や、地元泉町内での公演を行いました。28日の夕方には、山あげの舞台で、市文化財の「宮原八幡宮太々神楽」を同保存会が演じました。この公演が終る頃には、激しい夕立に見舞われ、夜の2公演は泉町自治会館で上演しました。

最終日の午後には、山あげ会館前で「将門」が特別公演され、ひととき多くの観客で会場はにぎわいました。夕方には、御飯殿前で「還御祭」が行われ、その後、来年当番の鍛冶町若衆が担ぐみこしに続き、子どもみこし、4町の屋台が、八雲神社鳥居前に向かいました。泉町、日野町、金井町、元田町の屋台が配置につき、当番泉町の菊池祐一木頭の合図でおはやしの真剣勝負「ブンヌキ」がいよいよスタート。笛や鉦、太鼓の打合いに若衆が声援を送り、激しいおはやしの音と若衆の熱気に、観衆は圧倒されていました。

夜には最終公演となる「笠拔」で、将門、関の扉、老松を演じ、全公演を無事終えました。
夕方から続く「還御」のみこしは、鍛冶町若衆が八雲通りを何度ももみ歩き、午前0時過ぎに八雲神社にお宮入り。深夜まで会場に残っていた観客からは大きな拍手が沸き、今年の祭の幕は下ろされました。



①



④



③



②



⑥



⑤

舞台での踊りと共に、「山あげ祭のもう一つの魅力が、約100人の若衆の糸乱れぬ動き。木頭の合図で、次々と舞台装置が生まれ、公演中にも山の切替えなど、若衆のキビキビした行動で祭は支えられています。

この若衆の世話役を務めた泉町の石原隆筆頭世話人は、「伝統ある山あげを無事行うことができ良かった。厳しい暑さの中、若衆が本当に良く頑張ってくれた」と、祭を振り返りました。

◇ 祭に関連し、28・29日には、JR大宮支社が「山あげ祭観覧の旅」を企画。当日は、烏山駅前で、烏山ふるさと太鼓保存会の演奏や金井町の屋台などで、観光客を歓迎しました。

山あげ会館前広場では、期間中、ふるさと物産展のほか、市内文化団体や「とちまるくん」の公演、ブンスキなどが行われました。初日の夜には、嵐山睦の万灯みこしが、たいまつの間を練り歩き、会場は幻想的な雰囲気になりました。会館内では、踊り子との撮影会なども観光客に好評でした。

祭の様子は、NPO法人eとちぎ（藤平昌寿代表理事）が、インターネットで公演を中継配信しました。また、きれいな環境で観光客を迎えようと、烏山FCウイングスやシルバー大学校OB会、リーダーズクラブなどの団体が、早朝から清掃作業を行うなど、多くの市民が祭を支えました。



①泉町若衆らが全員集合し記念撮影②みこしの準備をする菊池木頭(中央上)③写真撮影に応じる石原筆頭世話人(中央)④訪問で世話人同士のあいさつ⑤地車を引く若衆⑥大山の準備⑦嵐山睦の万灯みこし⑧「宮原八幡宮太々神楽」公演⑨鳥山駅前でお出迎え⑩常磐津の皆さん⑪子どもみこしも参加⑫山あげ会館で踊り子と撮影会⑬かわいらしい金棒曳き⑭「渡御」で天狗が露払い⑮清掃をする鳥山FCウイングス。

オリジナルフレーム切手「山あげ祭」をデザイン

地域限定フレーム切手「山あげ祭」の発売を記念し、手塚一信船生郵便局長が7月2日、市役所を訪れ、大谷範雄市長にこの切手を寄贈しました。

「山あげ祭」が切手の題材となったのは、祭に訪れた皆さんの声によるもの。観光協会の協力で、昨年の祭で演じられた「辰橋」や各町屋台などが、1枚のシートに描かれました。80円切手10枚からなるシートは、1部1200円で、1000部販売します。郵便局のほか、山あげ祭の出張所でも販売され、土産品として観光客に好評でした。



切手を贈る手塚局長(右)。



青木自治会長。

「昨年、自治会(青木一夫会長)では、若衆から相談を受け、総会で正式に休止を決定しました。今回は、自治会で会所を開いたものの、若衆不在のため訪問を辞退。青木会長は、「50戸の町では負担が大きい。伝統の重さは誰も感じており、関係者の意見を聞きながら検討したい」と、対応の難しさを語りました。

仲町若衆が活動を休止

昨年の当番「仲町」では、深刻な人手不足のため、現在、若衆の活動を休止しています。6町輪番制の厳しさが、現実のものとなりました。

市は、公共交通再編整備計画に基づき、乗合公共交通（デマンド交通）の導入に向けた試験（実証実験）運行を10月1日から開始します。運行区域は、交通空白地域の南那須地区全域と、烏山地区の指定施設で、利用するためには、事前の登録が必要となります。

「公共交通再編整備計画」に基づき試験運行

市民の日々の暮らしを支え、将来的に持続可能な公共交通を構築するために、市は、昨年3月に「公共交通再編整備計画」を策定しました。この計画は、既存のバス事業や福祉バスなども含め、市内公共交通全般にわたる基本的な整備方針を定めたものです。

南那須地区で試験運行

10月1日から運行スタート、事前に利用登録が必要です。

この計画の中で、交通空白地域を解消するために、新たにデマンド交通を導入することとしています。その本稼働に向けた試験運行を、国の「地域公共交通確保維持改善事業補助金」を受けて10月から実施します。

乗り合い・予約制の「デマンド交通」

「デマンド交通」とは、乗り合い

で、希望する場所から目的地までの移動手段を低額で提供する新しい公共交通サービスです。「デマンド」は、日本語で「要求、要請」と訳され、利用者が電話などで乗車を「要請（予約）」して、買い物や病院などに行くときに利用するといったシステムです。

試験運行の区域は、路線バス等が少なく、交通空白と呼ばれる南那須地区全域と、烏山地区の市役

デマンド 交通

■デマンド交通試験運行の概要

試験運行期間	10月1日～平成25年3月31日
運行区域	南那須地区全域 烏山地区指定施設 (烏山庁舎・那須南病院)
運行事業者	大金タクシー
運行車両	2台(大型セダン5人乗り)
運行日時	月～金曜日(祝日、年末年始は運休) 午前7時30分～午後4時30分
対象者	登録者(市民以外でも利用可)
乗車予約	乗車希望の2週間前から当日の1時間前まで(1便・2便の予約は前日まで)に電話・FAXで予約 受付：月～金曜日の午前8時30分～午後5時30分(祝日、年末年始除く)
予約センター	きずな運営センター 〒321-0628 那須烏山市金井2-2-11 TEL 0287-82-8252 FAX 0287-82-8262

所烏山庁舎及び那須南病院。事前登録をすれば、住所や年齢に関係なく、市民以外でも片道300円(障がい者・小学生は150円、未就学児は無料)で利用できます。

運行時間は、平日の午前7時30分から午後4時30分まで。概ね1時間で1便とし、運行事業者(大金タクシー)が所有する5人乗りセダ

ン型車両2台で運行します。利用するときは、事前登録のほか、予約センター(きずな運営センター)への利用予約が必要となります。同一便の中で、複数の希望者を効率的に巡回し、乗合でそれぞれの目的地や自宅まで送迎します。一般のタクシーとは違い、「今すぐ」「私だけ」といった利用はできません。

市内事業所から 道路横断旗寄贈

道路横断用の旗入器22基と横断旗110本が、このほど、市内の横断歩道に設置されました。

この横断旗等は、道路を横断する歩行者の事故防止を目的に市内11事業所から贈られたものです。交通安全機器を取り扱う会社ハビネスが、事業所に寄付を呼び掛け設置しました。

■寄贈事業所(敬称略・順不同)

(有)西山鉄網製作所南那須工場、(株)アヤラ産業、(株)エンゼル南那須工場、(株)野村建設、カーティークーズ、美喜寿司、(有)本丸産業、(株)鳥山自動車学校、大笹工務店、古内接骨院鍼灸治療院、機能訓練デイサービスさくら

「子どもと高齢者の交通事故防止」などを重点に 夏の交通安全運動

市、那須鳥山警察署、交通安全協会では、7月18日から20日までの3日間、「子どもと高齢者の交通事故防止」などを重点に、夏の交通安全運動を独自に展開しました。

運動期間中には、関係機関が協力して、主要な交差点で早朝街頭指導を行いました。また、20日には、市内スーパーでチラシ配布を行い、交通事故防止を呼び掛けました。



市内スーパーでチラシを配布。

事前登録の受付を開始

デマンド交通を利用するためには、事前に利用登録の申込みが必要となります。希望者は、次の受付窓口にて申込書を提出してください。

送やFAXによる受付も行っていますが、申込みは、受付窓口のほか、市ホームページで入手できます。(南那須地区には7月に行政区長を通して配達済)

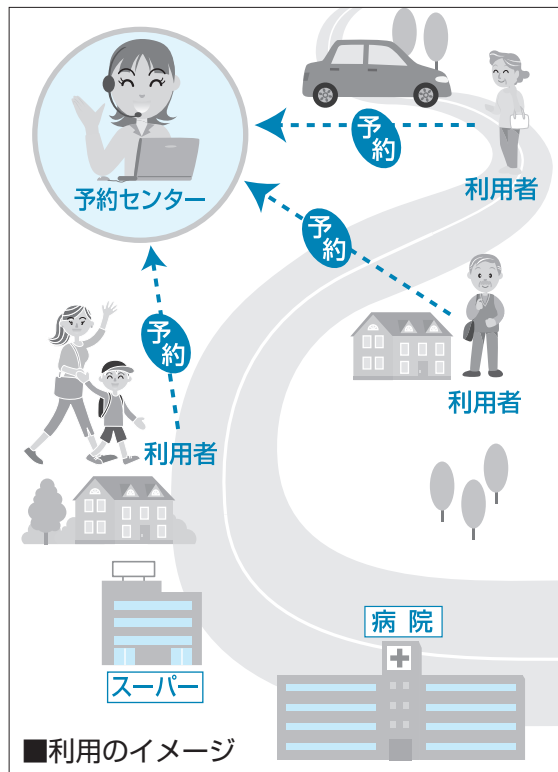


デマンド交通の車両(表示は仮)。

■運行便

便	時間帯
1便	午前7時30分～8時30分
2便	午前8時30分～9時30分
3便	午前9時30分～10時30分
4便	午前10時30分～11時30分
5便	午前11時30分～午後0時30分
6便	午後0時30分～1時30分
7便	午後1時30分～2時30分
8便	午後2時30分～3時30分
9便	午後3時30分～4時30分

○受付窓口
南那須庁舎市民課
鳥山庁舎総務課
保健福祉センター健康福祉課
大金タクシー(大金駅前)
さきずな運営センター(金井2丁目)



市は、この試験運行結果をもとに、デマンド交通の本稼働に向けた検討を行います。今回の試験運行を多くの人にご利用いただき、新たに導入する交

通システムがより良い市民の足となるよう、皆さんからの貴重なご意見をお待ちしています。
■総務課危機管理室 ☎0287-83-1111

システム更新に伴いアドレスを変更

受信拒否設定を確認ください

市は、事前に登録した携帯電話やパソコンに、火災や空間放射線量等の情報をメール配信する「防災情報メール（エマージキャスト）」のシステムを9月1日に更新します。

これにより、配信元メールアドレスが変更されるため、携帯電話等の迷惑メール対策の受信拒否設定（指定した人からのメールだけ受信する等）をしている場合、9月1日以降にメール受信がでなくなりしますので、設定をご確認ください。

利用者には、既に案内のメールを配信しましたが、8月中にテストメールを数回配信しますので、迷惑メール対策をしている場合、事前に次の設定をお願いします。

迷惑メール対策の設定

迷惑メール対策をしている場合には、次のドメイン（@）以降のアドレスからメール受信ができるように設定してください。

- ・NTTドコモの携帯電話（iモードメール・SPモードメール）利用者
mail-i-emergecast.jp
- ・それ以外の利用者
mail-emergecast.jp

NTTドコモ

「マイボックス」利用の場合

NTTドコモの携帯電話で、「マイボックス（メッセージRで受信）」の機能を使って防災情報メールを受信している場合には、前記の迷惑メール設定を確認の上、新規登録（tr-nskrsym@mail.emer-gcast.jp）をしてください。

「防災情報メール」

メールで配信される内容は

防災情報メールでは、「火災防災情報」と「行政情報」の2つの区分で、情報を配信しています。『火災防災情報』：火災や防災に関する情報。『行政情報』：空間放射線量測定結果、交通安全などの情報。

防災情報メール

受信情報を変更する場合は、新規登録が必要となります。



市は、この防災情報メールのほか、市ホームページ、とちぎテレビデータ放送、メールマガジン、ツイッター、防災行政無線等で防災情報をお届けしています。災害発生の恐れがある時などは、自分の身を守るためにこれらの情報をご活用ください。

■総務課危機管理室 ☎0287

83-11111

※これまでのメール配信システム「エマージキャストI」が8月31日でサービス終了となるため、9月1日から「エマージキャストII」に移行します。

市消防団夏季点検

非常時の備えも万全

市消防団（興野一美団長）の夏季点検が7月1日、大桶運動公園で開かれ、8分団40部から454人、女性消防団2部の20人、3中学校の少年消防隊79人が出場しました。

点検は、これからの台風シーズンなどに備え、機械器具や操作方法等を点検し、いざというときに対処できるよう毎年この時期に開いているもの。参加した団員は、服装点検、機械器具点検、分列行進などを一糸乱れぬ行動で済ませ、万全の備えを印象付けました。最後には41台のポンプから一斉に放水。団員の士気高揚と、防災意識の啓蒙を図りました。

機械器具の点検。



市職員が東北被災地支援

東北の被災地を支援しようと、市職員の有志が6月30日、宮城県石巻市の牡鹿地区で災害ボランティア活動を行いました。この活動は、市職員労働組合（石川浩執行委員長）が企画し、災害ボランティアチーム龍JINの協力で実施。市職員ら42人が参加し、同地区で倒木の恐れのある竹林の伐採などを行いました。

B & G海洋性スポーツ普及大会 荒川でカヌー体験

B & G南那須海洋クラブ(黒須清会長)では、7月16日、海洋性スポーツ普及大会を荒川河川敷で開き、市内の親子連れなど15人が参加しました。大会は、海洋性レクリエーションの普及と環境意識を高めるために、毎年「海の日」に開催しているもの。当日は、ライフジャケットを着用した参加者が、交替でカヌーを体験し、その後、河川敷のゴミ拾いを行いました。



カヌーを楽しむ参加者。

中学生海外派遣事業 メノモニー市での体験を報告

市は、中学生海外派遣事業報告会を7月24日、南那須庁舎で開き、5月に派遣された15人の生徒が、アメリカ合衆国ウィスコンシン州メノモニー市での貴重な体験を報告しました。

当日は、派遣団メンバーのほか、保護者や来賓、さらには国際交流協会会員も出席。生徒が、ホームステイや学校訪問などを通して感じたことを一人ひとり発表すると、会場からは大きな拍手が沸きました。

アメリカで学んだことを発表。



元気にラジオ体操。

多くの市民が参加。



お揃いのTシャツで。



体操指導の岡本さん。



夏期巡回ラジオ体操 「みんなの体操会」でさわやかな汗

気軽にできるラジオ体操を楽しんでもらおうと、NHK、NPO法人全国ラジオ体操連盟(株)かんぽ生命保険では、7月24日、NHKの栃木県域テレビ放送開始記念「夏期巡回ラジオ体操・みんなの体操会」を本市で開催しました。会場の荒川中学校グラウンドには、約1100人の市民が集まり、元気にラジオ体操第一・第二をする様子、NHKラジオ第1で午前6時30分から10分間放送されました。

当日は、午前5時30分の開場前から、多くの家族連れやお年寄りなどが会場に詰め掛けました。6時の開会式では、司会者が体操指導の岡本美佳さんと、ピアノ伴奏の名川太郎さんを紹介すると、岡本さんは、「開場前から、これほど大勢の人が集まる会場は珍しい」と話していました。

6時30分の放送時間になると、参加者は、ピアノ伴奏に合わせ元気に体操をし、さわやかな汗を流しました。ラジオ放送の冒頭では、山あげ祭なども紹介され、国内外に「那須烏山市」の名が発信されました。

ラジオ体操は、体の仕組みをもとに考えられ、長年国民に親しまれてきました。放送終了後には、ポイントレッスン会が行われ、岡本さんが、体操の効果を高めるポイントを丁寧に指導しました。



一般会計補正予算を可決

学校給食センター運営費などを補正

平成24年第5回市議会7月臨時会は、7月13日に開かれ、一般会計補正予算1議案を原案どおり可決しました。主な内容は次のとおりです。詳しくは議会事務局(☎0287-88-7114)までお問い合わせください。

○補正予算

平成24年度の一般会計予算を歳

入・歳出ともに816万2千円増額し、総額126億5456万3千円としました。

主な内容は、9月からスタートする学校給食センターのアレルギー対応などの経費190万2千円、栃木県消防操法大会出場に伴う出場分団への交付金100万円、法人市民税の過年度還付金526万円です。

あなたの税が未来を拓く
市町村税徴収強化月間2012夏

◆県下一斉の取組

県内の各市町では、納税の公平と税収の確保を図るため、7～8月を「市町村税徴収強化月間2012夏」として、栃木県と協力して、県下一斉に徴収強化に取り組んでいます。

◆納期内に納付を

市税の滞納は、市の財政を圧迫し、福祉や教育などの市民サービスに支障をきたします。そして、納期内に税金を納めている大多数の皆さんとの公平性を欠くことになります。

◆差し押さえを強化

税金を納期限までに納めなかった人には、まず「督促状」が送付されます。この督促状が発送された日から10日を経過した日までに完納しなかったときには、市は滞納者の財産(預貯金、生命保険、不動産、給料、自動車、動産(電化製品や美術品、貴金属等))を差し押さえることが法律で定められています。自動車の差し押さえには、タイヤロック(写真)を使う場合もあります。

◆事情がある場合は相談を

病気や失業、事業の廃止、災害にあったなど、やむを得ない理由で税金を納期内に納めることが困難な人は、市税務課収納対策室まで連絡してください。



■税務課収納対策室

☎0287-88-7113

ご寄付

ありがとうございます

■社会福祉事業寄付金

・栃木県街商協同組合様から2万円が寄付されました。
・水井允様(野上)から10万円が寄付されました。

■ふるさと応援寄付金

・匿名希望者様(宇都宮市)から10万円が寄付されました。
・埼玉和様(東京都葛飾区)から5万円が寄付されました。
・神奈川南那須会様から2万1千円が寄付されました。

■東日本大震災義援金

・那須烏山市まちづくり研究会様から2万6千円が寄付されました。

■市の工事請負等契約

(前月20日までの入札結果、単位は千円、250万円以上)

事業名	箇所	業者名	金額	工期
田野倉大金線道路整備工事その1	大金	(株)岡工務店	4,042	7/10～10/31
西野配水場補修工事設計業務委託	三箇	(株)工藤設計	2,772	7/4～10/1

入札等に関するお問い合わせは、総務課管財係☎0287-83-1111まで。